

心房細動アブレーションにおいて食道を高出力・短時間（50W・5秒）で焼灼することの安全性と有効性に関する検討

1. 研究の対象

2020年6月から9月にかけて初回の心房細動アブレーションを受けた方

2. 研究目的・方法

高周波アブレーション治療に伴う食道障害の発症の懸念から、これまで食道上の焼灼は出力を下げて行っていました。しかし、近年低出力での焼灼は、焼灼の時間が長くなり、より深部まで焼灼の影響が及ぶ結果、食道障害をむしろ増加させてしまう可能性があることが指摘されています。さらに、食道を高出力・短時間で焼灼しても食道障害は少なかったとの報告もあります。このような状況を考慮し、当院でも2020年8月より医師の判断にもどづき食道上で高出力焼灼の一部診療を開始しております。

今回の検討では、食道上で高出力焼灼の安全性と有効性を従来の方法と比較します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

手技時間、焼灼に関するデータ、初回の周回焼灼で食道上に伝導が残存した比率・合併症の有無、術後の再発の有無

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

濟生会熊本病院 循環器内科 岡松秀治

住所 熊本市南区近見5丁目3番1号

電話番号 096-351-8000（病院代表）

以上